



コレクション展

江戸絵画と笑おう

えどから

2021
7.13 (火)
9.20 (月・祝)

休館日=8月2日(月)、9月6日(月) *休室日=8月16日(月)
開館時間=10:00-18:00(金・土曜日は20:00まで)
主催=千葉市美術館

明治の戯画も大活躍!

千葉市美術館
Chiba City Museum of Art

中村芳中『光琳面談』(部分) 享和2年(1802) 千葉市美術館ラヴィッツコレクション
歌川国利『新版 家久連佐登』(部分) 明治19年(1886) 青木コレクション (千葉市美術館寄託)
歌川国利『しん板 おこの世界』(部分) 明治19年(1886) 青木コレクション (千葉市美術館寄託)



平木コレクションによる

前川千帆展

SENPAN MAEKAWA



センパンさんの
ぼの版画ワールド

2021
7.13 (火)
9.20 (月・祝)



前期=7月13日(火)~8月15日(日)
後期=8月17日(火)~9月20日(月・祝)
休館日=8月2日(月)、9月6日(月) *休室日=8月16日(月)
開館時間=10:00-18:00(金・土曜日は20:00まで)
主催=千葉市美術館 協力=公益財団法人平木浮世絵財団

千葉市美術館
Chiba City Museum of Art

（少乙）1927年頃 木版、紙 公益財団法人平木浮世絵財団蔵（「まてんばチャッピー」）（部分）（よみうり少年新聞）1033号、1934年7月8日 夜鳥文庫蔵



平木コレクションによる

前川千帆展

千葉市制100周年記念

SENBAN MAEKAWA



前川千帆(1888-1960)は、恩地孝四郎・平塚運一とともに「御三家」と称された、近代日本を代表する創作版画家です。京都に生まれ、漫画家として名を成すかわり木版画を手がけ、清澄な彫摺と躍動感のあるユーモラスな造形により独自の作風を拓いたその作品は、今なお色褪せない魅力を有します。また近年、日本のアニメーション草創期に少なからぬ役割を果たした事実も掘り起こされ、マンガやアニメがクールジャパンの象徴として評価される今こそ再検証すべき作家

と言えるでしょう。1977年にリッカー美術館で開催された「前川千帆名作展」以来、実に44年ぶりの大回顧展となる本展は、浮世絵の大コレクションで知られる公益財団法人平木浮世絵財団の所蔵品を中心に、約350点の作品から前川千帆の版業を総覧いたします。庶民のつましくも平和な日常に温かなまなざしを注ぎ、時にほのぼのと、時にしみじみと、人や街、温泉地を刻んだセンパンさんの作品世界を、どうぞお楽しみください。
*会期中、展示替を行います。



【関連企画】

内容やイベントが変更になる場合があります。詳細は美術館ホームページをご確認ください。

講演会「前川千帆と温泉へ行く—版画浴泉譜の世界—」

講師：森山悦乃(公益財団法人平木浮世絵財団主任学芸員)
日時：7月25日(日) 14:00-15:30(開場予定) / 場所：11階講堂にて
定員：先着60名(当日12:00より1階にて整理券配布) / 参加費：聴講無料
*当日託児サービス(事前申込制)があります。

ワークショップ

「手の中で動きだす! ばらばらマンガを作ってみよう」(事前申込制)

ちょっぴりずらしたり、角度を変えたり、増やしたり減らしたりしながら描いてみる。それを連続させると、あら不思議。描いた線や形がイキイキと手の中で動き出すよ。手のひらサイズのばらばらマンガをつかって、動く絵を体験してみよう!

講師：あしたのき(アニメーション画家)
日時：8月22日(日) 13:00-15:45(終了予定) / 場所：5階ワークショップルームにて
定員：20名 / 対象：小学3年生以上 / 参加費：300円(材料費込)
申込締切：8月11日(水)

市民美術講座「前川千帆の木版画—ほのぼのの版画ワールドへようこそ—」

講師：西山純子(当館上席学芸員)
日時：9月11日(土) 14:00-15:30(開場予定) / 場所：5階ワークショップルームにて
定員：先着40名 / 参加費：聴講無料

「美術館で緑日気分!!」

日時：8月15日(日) 13:00-16:00(予定) / 場所：1階さや堂ホールにて

託児サービスデー(事前申込制)

子育て中の方も、安心してゆっくりと美術鑑賞をお楽しみください。保育士の資格を持ったベビーシッターがお子さまをお預かりします。
日時：7月25日(日)、9月4日(土) 13:00-16:00

●《屋上風景》1931年 木版、紙 公益財団法人平木浮世絵財団蔵 ●《山家と少女》1955年 木版、紙 公益財団法人平木浮世絵財団蔵 ●《新巻の影画芝居》1958年 木版、紙 公益財団法人平木浮世絵財団蔵 ●《あわてものの熊さん》(読売サンデー漫画)1931年2月1日号) 夜鳥文庫蔵 ●《湖の見える室》1932年頃 木版、紙 千葉市美術館蔵 ●《新東京百貨景 渋谷百貨店》1929年 木版、紙 千葉市美術館蔵 ●《ゴールデンパット動物園》より 1944年 木版、紙 個人蔵

観覧料=一般1200(960)円 大学生700(560)円 小・中学生、高校生無料

*「前川千帆展」と「江戸絵画と笑おう」の共通チケット
*「江戸絵画と笑おう」のみご覧の場合は、一般500(400)円、大学生400(320)円
*障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料
*()内は前売り、市内にお住まいの65歳以上の方の料金
*前売り券は、ミュージアムショップまたはローソンチケット(Lコード35076)、セブンイレブン(セブンチケット)、千葉都市モノレール「千葉みなと駅」「千葉駅」「都賀駅」「千城台駅」の窓口にて7月12日まで販売(7月13日以降は当日券販売)

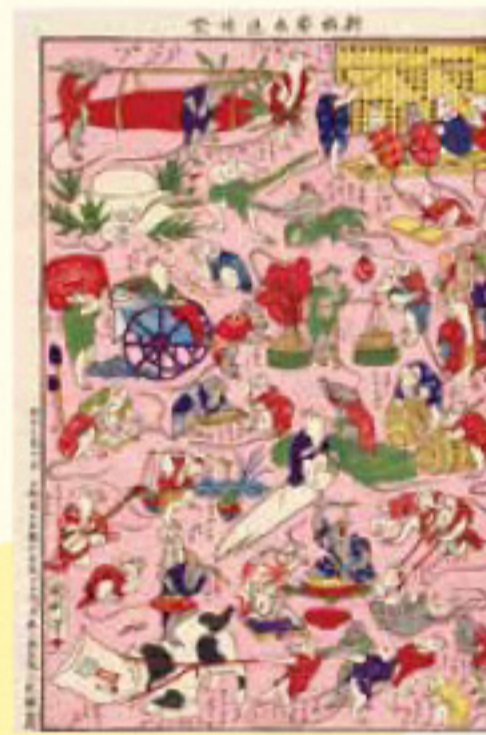
☆リピーター割引：共通チケット(有料)半券のご提示で、2回目以降の観覧料半額
☆ナイトミュージアム割引：金・土曜日の18:00以降は共通チケットが半額になります
☆本展チケットで5階常設展示室「千葉市美術館コレクション選」もご覧いただけます
*割引の併用はできません

*館内にて新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行っております。
・体調のすぐれない方の来館はご遠慮ください。
・咳エチケット、マスク着用、手洗い・手指の消毒の徹底にご協力ください。
*内容やイベントが変更になる場合があります。最新の状況はホームページをご確認ください。

コレクション展

江戸絵画と笑おう

えっぴんが



●長澤蘆雪・曾道怡《花鳥蟲獸図巻》寛政7年(1795) 千葉市美術館蔵 ●鳥文斎栄之《三福神吉原通い図巻》文化期(1804~18)頃 千葉市美術館蔵 ●仙庄義梵《蓮塘図》江戸時代後期 旧ピーター・ドラッカー山荘コレクション(千葉市美術館寄託) ●歌川国利《新板 家久遠住登》明治19年(1886) 青木コレクション(千葉市美術館寄託) ●丹波一景《東京名所三十六戯撰 両国花火》明治5年(1872) 青木コレクション(千葉市美術館寄託)

【同時開催】

5階常設展示室「千葉市美術館コレクション選」

休室日：第1月曜日

4階子どもアトリエ「つくりかけラボ04 飯川雄大 | デコレータークラブ—0人もしくは1人以上の観客に向けて」

会期：2021年7月14日(水)~10月3日(日)

休室日：第1月曜日

【次回展予告】

「福田美蘭展」

会期：2021年10月2日(土)~12月19日(日)

「つくりかけラボ05 松本力 | SFとりはうたう ひみつを」

会期：2021年10月16日(土)~12月26日(日)

「江戸・明治の絵画」というと、難しくとっつきにくいイメージがあるかもしれませんが。そこで本展では千葉市美術館のコレクションの中から「笑い」をキーワードとして、現代の私たちにも自然に楽しめる、親しみやすい作品を集めてみました。

犬や猫たちの無敵のかわいさに「うふふ」と頬がゆるむ動物画、ウィットに富む図柄に思わず「くすり」とさせられる戯画、ユーモアを交えて教養を伝える禅画など、その魅力は実に様々です。夏の暑さに疲れたら、美術館でほっこり一休み。多彩な作品と触れ合い、和やかなひと時をお楽しみください。
*会期中一部展示替を行います。

【関連企画】

内容やイベントが変更になる場合があります。実施方法など、詳細は美術館ホームページをご確認ください。

■お楽しみ動画「どこでもえどわら!」を大公開!

ご自宅から展覧会を楽しむワンポイントをご覧ください。

■オンラインワークショップ

「うきうき浮人形—つくて 浮かべて あそぼう」

江戸の子どもたちは、人形を水に浮かべて楽しんでたよ。つくて遊んでみよう!

開催期間：7月13日(火)~9月20日(月・祝)

対象：どなたでも / 参加費：無料

■「えどわんグランプリ2021」

展示作品の中で、あなたのツボを押したのはどれ?推しの一品を選んで投票しよう。

投票受付期間：7月13日(火)~9月12日(日) / 結果発表：9月13日(月)

対象：どなたでも / 参加費：無料

*会場・オンラインどちらも参加可能です。*結果は会場と美術館ホームページで発表します。

【交通案内】

・JR千葉駅東口より 徒歩約15分/バスのりば7番より大宮病院行または南矢作行にて「中央3丁目」または「大和橋」下車徒歩約3分/千葉都市モノレール県庁前方面行「蔵川公園」下車徒歩約5分
・京成千葉中央駅東口より 徒歩約10分
・東京方面から車では 京葉道路・東関東自動車道で宮野木ジャンクションから木更津方面へ、貝塚IC下車、国道51号を千葉市街方面へ約3km、広小路交差点近く
*地下に機械式駐車場があります(車高155cmまで)。
*シェアサイクルスポットがあります。

千葉市美術館 Chiba City Museum of Art

〒260-0013 千葉市中央区中央3-10-8
電話：043-221-2311(代表) https://www.cma-net.jp

